



檜原学園  
Hinohara Gakuen

# 檜小だより

檜原学園檜原小学校



12月号

令和6年度

12月3日(火)

## 概念の変化を望む

副校長 神田 裕一

私は、6年生の少人数算数の授業を受け持っていますが、第1回目の授業の時に話したことがありました。「算数で解く問題の答えは、一つかもしれないけれど、解き方はいくつもあるから、それらを探してほしい。」と、山の絵を描き、登頂ルートはいくつもあることを例えに出して話しました。そこには「算数のねらい」だけではない、願いも含まれています。

話を変えますが、過日、世界でも有名なアルピニスト野口健さんの講演を拝聴しました。紹介するまでもないかもしれませんが、7大陸最高峰登頂を最年少で達成した日本の登山家です。その他にも、日本では富士山の、ネパールではエベレストの清掃活動をしたり、被災地の支援を行ったりする等、現場での活動を主に世界を渡り歩いている方です。講演会では、自分の生い立ちから活動の詳細まで多くのことをお話ししていただきました。2時間程の講演時間ではありましたが、まだまだ聞きたいと思う程、聴き入ってしまいました。その話の中で印象に残ったものの1つに「概念の変化を望む」という言葉がありました。ある時、エベレストの清掃活動をするようになった野口さんは、シェルパ（登山者のための道案内を生業としている人達）にも協力を求めたそうです。当初は、「自分たちの仕事ではない」と受け入れ難かったシェルパも、隊長であり、雇い主である野口さんが率先して取り組む様子を目の当たりにして、一緒に活動を行うようになったそうです。そして、数年が過ぎたある日、シェルパのいる村を訪れた野口さんは、村がきれいになっていることに驚いたそうです。村に帰ったシェルパは、村のゴミに目が向き、清掃活動を始めたらしいのです。そして、更に語られたのは、考え方の変化でした。「村もきたない、カトマンズもきたない、だからきれいにする」→「きれいになると気持ちが良いので続けたい」→「ネパールのシンボルであるエベレストを徹底的にきれいになりたい」→「ネパールを変える」→『エベレストからネパールを変える』というように、最後は自分たちで国を変えていくのだという強い意志を感じたそうです。シェルパの村で育った人達にとって、登山の案内以外で自分達がやりたいことを語るというのは今までなかったのだそうです。

冒頭に書いた内容と野口さんの話には、共通することがあると感じました。たまたま「山」に関わることであったこともそうですが、『新しい考え方を発見・取り入れることで更なる発想が生まれる』のではないかと思います。

これらは学校教育の中でも重要です。物事を多面的に見て、活用しようとするにより新たな発想がわいてくるかもしれません。本校で取り組んでいる校内研究の主軸としている話し合い活動の中では、まさにこの考え方をを用いている場面が、子供たちから多く見られるようになってきました。

「思考力」を育てること。目で見て分かりやすい力ではありませんが、本校では今後も、考える場面を多く設定しながら、この力を伸ばしていきたいと考えています。

## 道徳授業地区公開講座・郷土芸能鑑賞教室

10月26日(土)、道徳授業地区公開講座では、「集団や社会との関わり」に関する内容を全学級で行いました。また、3時間目には講師をお招きし、「子供が目を輝かせて聞く道徳授業の話」と題して、授業形式の大人のための道徳授業講座を行いました。受講した方の感想からは、「久しぶりに授業を受けた感じがして、内容も為になり、楽しかった。」等、良い評価を得ました。その後行われた地域芸能鑑賞教室では、上元郷地区の方々をお呼びして、「囃子」を披露していただきました。本校児童5名が演者として参加していたこともあり、みんな食い入るように見ていました。今後も檜原村を愛し、伝統を受け継いでいく子供たちの成長を見守り、檜原小の教育活動をすすめていきます。

## 12月の生活目標

### 学校をきれいにしよう

7月、12月、3月はそれぞれ学期のまとめの月になります。7月は「ものを大事にしよう」ということで自分の物、クラスの物、学校の物それぞれを大事にすることが物を大事にすることにつながるという話をしました。今月は「学校をきれいにしよう」です。普段、目の付かない所もきれいにすることに加えて、改めて普段から皆で使う場所、そして自分が使う場所をきれいにしよう声掛けをしています。教室がきれいになると入ったときの気持ちも明るくなります。きれいな教室で明るい気持ちで学期を締めくくると良いなと思います。

## 福祉施設交流

今年度も福祉施設交流として1、2年生が「檜原苑」と「サナホーム」を訪問しました。交流内容については、2年生が話し合って決めました。おじいちゃんおばあちゃんが笑顔で元気になってもらいたいという思いから、劇「白雪姫」と歌「にし」「少年時代」、ふれ合いタイム「檜原かるた・あやとり・マジック」を行うことにしました。白雪姫の劇は、おじいちゃん、おばあちゃんに伝わるように、ゆっくり大きな声で練習をしてきました。歌は、一緒に歌えるような曲を選びました。ふれ合いタイムでは、2年生が作った「オリジナル檜原かるた」などをグループに分かれて行いました。

当日は、舞台上上がり緊張気味の子供たちでしたが、一生懸命頑張る姿に温かい言葉や拍手をいただきました。

## 檜原学園 マラソン大会

11月30日に、毎年恒例の小中合同のマラソン大会が行われました。

今年のスローガンは、「全力 本気 気合」  
～自分の限界をこえろ～でした。



マラソンが得意な子も苦手な子も、自分の目標を立てて、約2週間、中休みや体育の時間などに頑張って練習をしてきました。その成果が、マラソン大会で十分に発揮できたのではないかと思います。保護者の皆様からのたくさんのご声援をいただき、最後まで走り切ることができました。また、沿道の安全管理などにご協力いただき、ありがとうございました。

## 生活科見学

10月に雨で延期していた1、2年生の生活科見学でしたが、11月7日に小峰公園に行ってきました。当日は、とっても良い天気になり、公園で秋に見られるバッタやチョウなどの生き物を探したり、ふんふんゴマづくりを楽しんだりすることができました。1、2年生で5つのグループに分かれて活動しましたが、2年生が、1年生に優しく教えている姿が見られるなど、仲良く過ごすことができました。

## 消防署見学

11月6日（水）に社会科の学習で3年生が秋川消防署檜原出張所見学に行きました。

消防署員の方から消防署での仕事内容についてお話を伺ったり、消防署の中を案内していただいたりしました。また、43秒という速さで防火衣に着替えるところを見せていただき、一秒でも早く現場に着けるようにという消防署員の方の思いを知りました。更に、防火衣を着させていただき、「重い〜!」ということを実感し、私たちのくらしを守るために日々働く消防士さんの大変さを実感することができました。

## 連合音楽会

11月8日（金）に秋川キララホールで行われた連合音楽会に3～6年生が出演しました。個人で熱心に練習したり、同じパートの人と教え合ったりして当日を迎えました。合唱『心の瞳』と合奏『彼こそが海賊』を堂々と演奏していました。6年生が考えてくれたスローガン「一心」を胸に、みんなで心を一つに合わせ発表することができました。また、他校の演奏を鑑賞し「迫力があつた」と貴重な体験をすることができました。平日にもかかわらずたくさんの保護者の方々に参観していただきました。ありがとうございました。これからも音楽を通して豊かな心を育てていきます。